

# 水野広徳 70 回忌追悼法要

NHKエンタープライズ  
エグゼクティブ・プロデューサー 西村与志木氏講演会



「世にこびず、人におもねらず、  
我はわが正しと思う道を歩まん」

松山市三津で生まれた言論人・水野広徳(1875～1945)は、明治 37 年に日本海軍軍人として日露戦争に従軍し、日本海海戦史「此一戦」を出版してベストセラー作家となりました。しかし、第一次世界大戦後の欧州の悲惨な戦況視察のあと、一転して非戦を主張するようになりました。大正 10 年、軍部の反感を買い退役を余儀なくされた後も、重なる発禁処分にもひるむことなく、言論人として率直、明快な態度で自分の考えや筆を曲げることはありませんでした。

殊にアメリカを仮想敵国とした軍部の新国防方針に反対し、日本がアメリカと戦えば、東京は一夜にして焼野原になるだろうと予見した先見性は歴史が証明しています。豊富な軍事知識と近代戦争の実情を視察した経験を踏まえ、軍縮・非戦論、平和論を積極的に展開したその論理の明快さ、分析の鋭さ、思索の深さは、政治・軍事・外交・社会・思想史など近代史のいろいろな分野で大きな業績を残しています。

この反戦・反骨に生きた水野広徳の追悼法要を実施し、彼の生涯を顕彰してまいりたいと考えます。ご参集いただければ幸いです。

【日 時】平成 26 年 10 月 19 日(日) 10:00～12:00

【場 所】蓮福寺 (松山市柳井町 3-6-3)

【参加費】無 料 (定員 80 名／先着順)

《追 悼 法 要》  
10 時 00 分～10 時 20 分 (墓前)

《演奏・講演会》  
10 時 30 分～12 時 00 分 (2F ホール)

演奏: 箏曲「夕月」「水野広徳」  
生田流 岳の会 主宰 白方雅泰氏  
小黑良江氏

講演: 『坂の上の雲』と日本人の生き方  
～水野広徳の生きた時代～

NHKエンタープライズ  
エグゼクティブ・プロデューサー 西村与志木氏

昭和51年NHK入局、「濤つくし」、「独眼竜政宗」を演出。  
スペシャルドラマ「坂の上の雲」の  
エグゼクティブ・プロデューサー。



主催・発起人 蓮 福 寺・住 職  
NPO法人アイムまつやま・理事長  
南海放送株式会社・会 長

山岡 宏  
菅 紀子  
河田 正道